

6月2日（金）、多賀城市の東北歴史博物館で宮城県高等学校定時制通信制教育研究会総会が行われました。これは本県の高等学校定時制・通信制教育の研究を促進し、その向上発展を図ることを目的として開かれるものです。

研究協議として、『自動車部の取り組みについて』（仙台工業高等学校定時制）、『単位制・定時制高校が育てたい生徒像と「担任」の果たすべき役割について』（東松島高等学校）、『特別な配慮を要する生徒に対する校内支援体制と求められる特別支援教育の視点』（仙台大志高等学校）のテーマで発表がありました。本校の教育活動に活かすことのできる、有意義な研究会でした。

